

## 平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業実績報告書

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔神奈川県教育委員会〕

1 事業実施期間 平成25年4月23日～平成26年3月25日

## 2 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校(中学校)	小田原市立城北中学校	15(2)	456
連携校 (拠点校中学校区 内の小学校)	小田原市立桜井小学校	20(2)	603
	小田原市立報徳小学校	14(2)	285
		( )	
		( )	

※学級数の( )には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

## 3 意識調査(アンケート共通項目)

(%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをすすめるのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	453	53.0	38.0	7.9	1.1	59.2	32.7	7.3	0.8	25.6	61.1	11.7	1.6	28.3	55.6	15.0	1.1
		前年②	441	51.9	36.7	8.2	3.2	59.9	29.7	6.6	3.8	24.5	60.1	12.7	2.7	25.4	55.3	15.6	3.7
		本年①	443	51.2	37.5	8.8	2.5	61.4	31.8	5.0	1.8	27.1	60.7	10.4	1.8	29.6	55.3	14.2	0.9
		本年②	444	42.3	40.8	10.8	6.1	49	40.2	7.9	2.9	24.2	60.3	12.4	3.1	23	54.2	18.7	4.1
	3	中2①	141	45.4	40.4	12.8	1.4	51.8	36.9	9.2	2.1	17.0	63.1	16.3	3.6	18.4	58.9	20.6	2.1
		中2②	139	47.5	42.4	7.2	2.9	53.2	36.0	7.9	2.9	21.6	64.0	13.7	0.7	23.7	53.2	20.1	3.0
		中3①	138	47.1	39.1	11.6	2.2	60.1	32.6	5.8	1.5	23.2	68.1	8.0	0.7	23.2	60.9	15.9	0
		中3②	139	42.4	36.7	12.2	8.7	48.6	37.9	8.6	4.9	29.5	58.3	10.1	2.1	25.9	56.1	12.9	5.1
	2	中1①	174	60.3	33.3	5.7	0.7	64.9	29.3	5.7	0.1	28.2	63.8	7.5	0.5	44.8	48.9	6.3	0
		中1②	167	58.7	31.1	6.6	3.6	64.1	24.6	7.8	3.5	31.1	55.7	10.2	3.0	30.5	60.5	5.4	3.6
		中2①	172	47.1	41.3	7.0	4.6	58.7	32.6	5.8	2.9	34.9	53.5	9.3	2.3	27.3	55.2	16.3	1.2
		中2②	170	41.2	41.8	10	7	45.9	42.4	8.8	2.9	25.4	59.8	10.7	4.1	23.1	49.1	23.7	4.1
	1	小6①	142	36.6	33.8	16.2	13.4	50.7	23.9	11.3	14.1	26.1	40.8	26.1	7.0	29.6	37.3	19.0	14.1
		小6②	146	50.0	45.2	4.1	0.7	65.1	31.5	3.4	0	32.4	44.1	21.4	2.1	47.9	37.7	13.7	0.7
		中1①	133	60.9	30.8	8.3	0	66.2	30.1	3.0	0.7	21.1	62.4	14.3	2.2	39.1	49.6	9.8	1.5
		中1②	135	43.7	43.7	10.4	2.2	53.3	40	5.9	0.8	17	63	17	3	20	58.5	18.5	3
小学校	高学年計	前年①	294	46.3	34.4	12.2	7.1	67.0	19.0	7.1	6.8	30.3	43.9	20.1	5.8	38.1	38.8	15.0	8.2
		前年②	294	53.4	39.5	5.4	1.7	69.7	26.5	3.8	0	32.1	49.1	17.4	1.4	49.7	38.4	10.9	1.0
		本年①	298	59.1	33.3	6.3	1.3	80.2	17.1	2.0	0.7	40.1	48.8	10.3	0.8	54.8	38.5	4.8	1.9
		本年②	292	62.3	32.9	3.8	1	77.1	19.9	2.7	0.3	38	53.4	7.2	1.4	51.7	40.4	5.5	2.4
	6	小5①	152	55.3	34.9	8.6	1.2	82.2	14.5	3.0	0.3	34.2	46.7	14.5	4.6	46.1	40.1	11.2	2.6
		小5②	148	56.8	33.8	6.8	2.6	74.3	21.6	4.1	0	31.8	54.1	13.5	0.6	51.4	39.2	8.1	1.3
		小6①	148	64.9	29.7	4.1	1.3	85.8	12.8	1.4	0	41.9	49.3	8.8	0	62.8	34.5	2.7	0
		小6②	144	73.6	23.6	1.4	1.4	81.3	17.4	1.3	0	39.6	50.7	8.3	1.4	61.1	32.6	2.8	3.5
	5	小5①	150	54	37.3	8	0.7	72.7	24	2	1.3	34.7	53.3	10.7	1.3	47.3	44	5.3	3.4
		小5②	148	51.4	41.9	6	0.7	73	22.3	4	0.7	36.5	56.1	6.1	1.3	42.6	48	8.1	1.3

学 校 種 等	学 年	実 施 時 期	児 童 生 徒 数 (人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられたりした				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中 学 校	全 学 年 計	本年①	443	79.9	16.0	2.7	1.4	77.2	16.0	3.4	3.4	78.3	17.4	2.7	1.6	77.7	19.0	2.5	0.8
		本年②	444	75.6	17.9	4.5	2	74.2	18.6	3.6	3.6	75.6	17.4	4.1	2.9	78.5	16.3	3.6	1.6
	3	中3①	138	84.8	9.4	4.3	1.5	86.2	10.9	0.7	2.2	87.0	10.9	2.1	0	84.1	15.9	0	0
		中3②	139	83.3	10.9	3.6	2.2	84.8	10.1	1.4	3.7	90.6	6.5	1.5	1.4	89.1	8	2.2	0.7
	2	中2①	172	79.1	19.2	1.2	0.5	72.1	19.2	5.9	2.8	76.7	19.2	2.3	1.8	74.4	22.7	2.3	0.6
		中2②	170	77.1	18.2	2.9	1.8	74.1	17.6	5.3	3	72.9	21.2	3.5	2.4	76.5	18.2	3.5	1.8
	1	中1①	133	75.9	18.8	3.0	2.3	74.4	17.3	3.0	5.3	71.4	21.8	3.8	3.0	75.2	17.3	4.5	3.0
		中1②	135	65.7	24.6	7.5	2.2	63.4	28.4	3.7	4.4	63.4	23.9	7.5	5.2	70.1	22.4	5.2	2.3
小 学 校	高 学 年 計	本年①	298	58.1	16.8	15.8	9.4	49.7	19.8	18.5	12.1	65.4	18.8	11.7	4.1	58.6	23.6	13.8	4.0
		本年②	292	57.5	23.6	13	5.9	51.4	25	17.1	6.5	60.6	27.1	9.6	2.7	53.1	32.5	11.6	2.8
	6	小6①	148	52.0	16.2	20.9	10.8	47.3	19.6	20.9	12.2	62.2	19.6	14.9	3.3	56.5	24.5	16.3	2.7
		小6②	144	50.7	27.1	17.4	4.8	50	25	20.1	4.9	54.9	28.5	13.2	3.4	45.8	34.7	16	3.5
	5	小5①	150	64.0	17.3	10.7	8.0	52.0	20.0	16.0	12.0	68.7	18.0	8.7	4.6	60.7	22.7	11.3	5.3
		小5②	148	64.2	20.3	8.8	6.7	52.7	25	14.2	8.1	66.2	25.7	6.1	2	60.1	30.4	7.4	2.1

※小学校は、連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施したもの

※「オ」～「ク」の項目は、平成25年度から実施

※本年度第2回(②)以外は、「ブロック協議会資料」に記載した数値を記入

#### 4 課題・目標・取組

課題	学習への不安や、人間関係づくりが苦手な充実感を感じることができず、学校生活にうまく適応できない児童・生徒がいる。
目標	豊かな人間関係を育み、望ましい生活習慣と学習習慣を身につけ、児童・生徒が充実感や達成感を味わい、自己有用感を高める。
取組	よりよい授業づくり、学級づくりの推進、小中連携による生活・学習習慣の定着、そして学校行事の充実を図る。

#### 5 重点推進事項

小・中 共通	①「わかる授業」に向けての研究 ②9年間を見通した生活指導や学習指導の定着に向けた更なる取り組み
中学校	①校内研究を通じた授業改善をさらに進め、「わかる授業」の構築に向けた指導力の向上 ②仲間と共に、目標や課題意識を持って、主体的に参加できる活動を充実させる。
小学校	①言語活動を重視し「わかる授業」の構築をめざした教職員自らの研鑽(全校) ②異学年集団の活動をはじめ、いろいろな行事を通じた更なる学校生活への充実感(全校)

## 6 意識調査結果の分析と考察

成 果	成果があがったと考えられる主な理由
<p>小中共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わかる授業」に向けての研究</li> </ul> <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究を通じた授業改善をさらに進め「わかる授業」構築に向けた指導力の向上</li> <li>・仲間と共に、目標や課題意識を持って、主体的に参加できる活動の充実</li> </ul> <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動を重視した授業展開</li> <li>・「わかる授業」に向けての研究</li> <li>・異学年集団の活動をはじめ、いろいろな行事を通じた更なる学校生活への充実感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究担当者を中心に3校同歩調で研究を進められ、同時に職員一人一人が研究に真剣に取り組み、その成果が表れてきている。</li> <li>・「授業改善の10のポイント」を授業の中に位置づけることにより、ねらいを明確にして授業を展開することができた。また授業を参観し合うことで、自身の授業を振り返ることにつながり、意識を高めることができた。</li> <li>・行事前後のアンケートを活用していくことで生徒理解につながり、自己有用感を高めるような活動になった。</li> <li>・校内研究・研修を通して職員が研鑽を積むことができた。特に言語活動について見直すことができ、子どもたちの実態にあった授業を展開することができた。</li> <li>・職員一人一人が研究に真剣に取り組み、その成果が表れてきている。特に高学年を中心として自治的・自主的な活動になるように計画的に位置づけて活動できた。</li> </ul>

課 題	課題として残ったと考えられる主な理由
<p>小中共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間を見通した生活指導や学習指導の定着に向けた更なる取組</li> </ul> <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究を通じた授業改善をさらに進め「わかる授業」構築に向けた指導力の向上</li> </ul> <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業に主体的に取り組んでいる」と答える児童の伸び悩み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携という視点での取組について理解していくための時間が不十分である。</li> <li>・「コミュニケーション能力の育成」「基礎基本の充実」において教科の枠をこえた共通理解を図ることが難しかった。</li> <li>・「基礎基本の充実」「コミュニケーション能力の育成」と共に「主体的な学習活動」を「わかる授業」構築に向けて取り組んだが、上記の二つに比べてアプローチが弱く、学習意欲を引き出し、身につけたい力をつけていくような授業にはまだ至っていない。</li> </ul>

## 7 2年間の調査研究の成果と課題

### ①小中共通

- 「魅力ある学校づくり」をめざし、『授業』と『行事』の2本柱として進めてきた取組が、いろいろな場面でその成果が表れてきている。
  - ・3校での指定研究に対する共通理解と共通実践が図れたこと
- 「わかる授業」の構築に向けた研究の充実が見られるようになってきた。
  - ・各校の校内研究の充実
  - ・中学校区で定義づけた「わかる授業」の共通の3つの柱を意識したこと
  - ・「授業改善の10のポイント」を確認しながら授業研究を進めたこと

- 児童同士、児童・生徒の交流を深め、中学校へのより一層の希望を持つことができることをねらいとした積極的な連携が推進されてきている。
  - ・中学校の授業見学や体験授業、陸上技術支援や合唱見学の充実
- 9年間を見通した生活指導や学習指導の定着に向けた更なる取組を進めてはいるが、なかなか推進できていない現状が見られる。
  - ・9年間を見通した取組に対する研究時間の確保が難しい
  - ・学校だけでなく、地域や家庭にも更に啓発活動を行っていく必要がある

## ②中学校

- 少しずつではあるが、校内研究を通して授業改善に努め、「わかる授業」の構築が図られてきている。
  - ・「授業改善の10のポイント」を明確にし3つの柱と関連付けて実践を行った
  - ・授業評価アンケートをもとに授業形態や展開教材の工夫について改善を図った
- 学校行事や地域との交流を通して、充実感や達成感を味わうことができ、自己有用感を高めることができた。
  - ・取組過程における仲間との関わりの深まり
  - ・行事前後のアンケートを活用にした、職員からの関わり
- 「わかる授業」の構築に向けた授業改善を進めてはいるが、学年によって「授業がわかる」や「授業に主体的に取り組む」の数値が低く、学習に対する理解が十分でない現状がある。
  - ・基礎基本の定着が十分に図られていない

## ③小学校

- 言語活動を重視した授業展開や、「わかる授業」に向けての研究が更に深まってきている。意識調査においても、「授業に主体的に取り組んでいる」「授業がよくわかる」の項目では、研究1年目よりも数値の上昇が見られる。
  - ・校内研究・研修を通して、職員が研鑽を積み重ねたこと
- 異学年集団の活動をはじめ、いろいろな行事を通した更なる学校生活への充実感が高まってきている。意識調査においても、「学校が楽しい」の項目は1年目より上昇続け、「みんなで何かをするのは楽しい」の項目は依然として高水準である。
  - ・職員一人一人が研究に真剣に取り組み、その成果が表れてきている

## 8 取組内容

### (1) 月別実施内容

- ※「実施状況」の欄は、次の記号で取組内容ごとに示す。
- ・・・予定どおり実施
  - △・・・時期を変更して実施又は実施予定
  - ◇・・・計画書にはないが新たに実施
  - ×・・・実施しなかった

### <平成24年度>

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	異学年編制による「たてわり班」編制 (報徳小・全学年) 学習参観日(報徳小・全学年)	○ ○	第1回連絡協議会【東京】 第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】 小・中連絡協議会(第1回)	○ ○ ○
5月	遠足(桜井小1～5年)(報徳小1～4年) 第1回意識調査(全小5・6年) 市販の検査(全小5・6年) 仲間づくり教室(全小) 運動会(報徳小) 異学年編制による「なかよし班」編制(桜井小)	○ ○ △ △ △ ○	第1回意識調査(全学年) 市販の検査(全学年) 運動会	○ △ ○
6月	学習参観日(報徳小・全学年) 土曜学級(全小・全学年) ふれあい清掃(全小・全学年) 幼小交流(シャボン玉)(報徳小・1年)	○ ○ ○ ◇	仲間づくり教室(1年) 第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】 第1回小・中連絡協議会【小中合同】 地域連携会議【小中合同】	○ △ ○ ○
7月	ふれあい集会(報徳小・全学年) 宿泊学習(報徳小・5年)	○ ○	保育園との交流(バスケット栽培) 小・中連絡協議会(第2回)	○ ◇
8月	教職員合同研修会(小小合同)	◇	教職員合同研修会「社会的スキル検査」【小中合同】 教職員合同研修会「学習指導・生徒指導」【小中合同】 小・中連絡協議会(第3回)	○ ○ ◇
9月	児童による授業評価①(全小・全学年) 運動会(桜井小)	○ ○	保育園との交流(防災訓練) 保護者絆づくり教室 小・中連絡協議会(第4回)	○ ○ △ ○

10月	学習発表会(桜井小1・2年) 発表活動(桜井小・全学年) 授業参観日・公開授業(桜井小・全学年) 幼中交流(運動会への参加)(報徳小) 小中交流(体育大会協力)全小	○ ○ ○ ◇ ◇	小・中交流(陸上競技技術支援・合唱リハーサル見学) 第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】 授業公開・職員研修 小・中連絡協議会(第5回)	○ ○ ○ ○
11月	授業参観週間・公開授業(報徳小) 学習発表会(桜井小5・6年、報徳小・全学年) 鑑賞教室(全小5・6年)	△ ○ ○ ○ △	東部地区ブロック協議会(千葉)【小中合同】 幼保小中一体教育研究会 授業研究発表会【小中合同】 小・中連検査(全学年) 小・中連絡協議会(第6回)	○ ○ ○ ○ ○
12月	第2回意識調査(全小5・6年) 親子ふれあい球技大会&芋煮会(報徳小・希望者) 学習発表会(桜井小3・4年) 学習発表会(報徳小・全学年) ふれあい集会(桜井小・全学年)	○ ○ ○ ○ ○	第2回意識調査(全学年) 第4回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】 小・中連絡協議会(第7回)	○ △ ○
1月	児童による授業評価②(全小・全学年)	○	第2回小・中連絡協議会【小中合同】 中学校見学(全小・6年) 小・中連絡協議会(第8回)	○ ○ ○
2月	取組のまとめ(全小) 授業参観週間・公開授業(報徳小・全学年)	○ ○	リフレット・ホームページの作成 第2回連絡協議会【東京】 小・中連絡協議会(第9回)	○ ○ ○
3月	新入生連絡協議会 6年生を送る会(全小・全学年)	○ ○	中学校体験入学(全小・6年) 小・中連絡協議会(第10回)	○ ○

<平成25年度>

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	異学年編成による「たてわり班」の編成(報徳小) 学習参観日(全小)	○ ○	第1回連絡協議会【東京】 リフレット配布・周知【小中合同】 小・中連絡協議会(第1回)【小中合同】	○ ○ ○
5月	遠足(桜井小1～5年(報徳小1～4年) 第1回意識調査(全小5・6年) 市販の検査(全小5・6年) 運動会(報徳小) 異学年編成による「なかよし班」編成(桜井小)	○ ○ ○ ○ ○	小・中連絡協議会(第2回)【小中合同】 第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】 第1回意識調査(全学年) 市販の検査(全学年) 仲間づくり教室(1年) 先進校視察(三崎市立三崎中学校)【小中合同】	○ ○ ○ ○ ○ ○ ×
6月	日光修学旅行(全小6年) 学習参観日(全小) 土曜学級(全小) ふれあい清掃(全小) 幼中交流(報徳小) 校内研究授業(報徳小)	○ ○ ○ ○ ○ ○	幼保小中一体教育研究会【小中合同】 先進校視察(厚木市立三田小学校)【小中合同】 幼保小中一体教育公開授業(報徳小)【小中合同】 総括研究官指定地域訪問【小中合同】 校内研究公開授業・学習指導研修会【小中合同】 小・中連絡協議会(第3回)【小中合同】	○ ○ ○ ○ ○ ○
7月	集団宿泊的学習(報徳小5年) ふれあい集会(報徳小) 授業参観日・公開授業参観(報徳小) 校内研究授業(桜井小)	○ ○ ○ ○	幼保小中一体教育研究会(学習)【小中合同】 小・中連絡協議会【小中合同】 保育園との交流(バスケット栽培) 小・中連絡協議会(第4・5回)【小中合同】	○ ○ ○ ○
8月	校内研究研修会(報徳小) 校内研究研修会(桜井小)	○ ○	地域ミニ集会(生徒参加) 教職員合同研修会【小中合同】 小・中連絡協議会(第6回)【小中合同】	○ ○ ○
9月	児童による授業評価(全小) 運動会(桜井小)	○ ○	保育園との交流(合同防災訓練) 小・中連絡協議会(第10・11・12回)【小中合同】	○ ○
10月	学習参観週間・公開授業(全小) 校内研究授業(報徳小) 校内研究授業(桜井小)	○ ○ ○	第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】 小・中交流(陸上競技技術支援・合唱リハーサル見学) 東部地区ブロック協議会【茨城】 魅力ある学校づくり調査研究事業研究発表会【小中合同】 小・中連絡協議会(第13・14・15回)【小中合同】	○ ○ ○ ○ ○
11月	鑑賞教室(桜井小) 校内研究授業(報徳小) 校内研究授業(桜井小)	○ ○ ○	幼保小中一体教育研究会(学習)【小中合同】 市販の検査(全学年) 小・中連絡協議会(第16回)【小中合同】	○ ○ ○
12月	学習発表会(報徳小) 市販の検査(全小) 第2回意識調査(全小5・6年) 親子ふれあい球技大会&芋煮会(報徳小) ふれあい集会(桜井小) 2校合同交流会(全小)	○ ○ ○ ○ ○ ○	第2回意識調査(全学年) 小・中連絡協議会(第17回)【小中合同】	○ ○
1月	児童による授業評価(全小) 専徳力授業(桜井小) 校内研究授業(報徳小)(桜井小)	○ ○ ○	幼保小中一体教育研究会【小中合同】 中学校見学(全小・6年) 小・中連絡協議会(第18・19・20回)【小中合同】	○ ○ ○
2月	取組のまとめ(全小) 授業参観週間(報徳小) 6年生を送る会(桜井小)	○ ○ ○	取組のまとめ・リフレット作成 第2回連絡協議会【東京】 小・中連絡協議会(第21・22回)【小中合同】	○ ○ ○
3月	6年生を送る会(桜井小) 新入生連絡協議会(全小)	○ ○	中学校体験入学(全小・6年) 第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】 小・中連絡協議会(第23回)【小中合同】	○ ○ ○

(2) 重点推進事項の実施状況

[小・中共通]

① 「わかる授業」に向けての研究

\* 「魅力ある学校づくり」研究発表会公開授業

- ・城北中学校全学級による公開授業を行い、中学校区の幼稚園、保育園、小中学校職員、地域の方々、また足柄下地区中学校職員の方々に参観いただくと共に、全体会で研究の概要について発表をした。公開授業では、中学校区で定義づけた「わかる授業」の共通の3つの柱をふまえ、意識して取り組むべき「授業改善の10のポイント」を明確にした学習指導案を作成して授業に取り組んだ。参観された方々から、小小連携・小中連携や授業について多くのご指導をいただき、中学校区で今後の取組に活かすこととした。その後の講演会では『魅力ある学校づくり』～「信頼」をベースにした学校学級づくりをめざす～をテーマに、全ての児童・生徒に対し言葉かけとして褒める、認める、励ます、アドバイスすることを心がけ、信頼関係をつくることの大切さを学ぶことができ、職員の意識が高められた。



- \* 「わかる授業」の構築に向けた校内研究の充実と更なる取組
  - ・ 城北中学校の公開研究会を機に小学校でも、3校の共通理解事項である「授業改善の10のポイント」を再確認しながら授業を進めてきた。次年度へつなげるための系統性を大切にしたり、伝え合う授業に向けたワークシートを活用したりしてきた。幼保小中一体教育の教科指導連絡会においては更なる取組として各小学校が研究で重点を置いている教科を中学校の教科担当が見学するなど、教科での連携を視野に入れた取組ができると良いのではという意見が出された。11月には両小学校の公開授業に中学校の職員が参観した。

② 9年間を見通した生活指導や学習指導の定着に向けた更なる取組

- ・ 3校共に様々な教育活動の中で、尊徳先生の教えをもとにした共通のポイント項目を中心に指導を重ねてきた。幼保小中一体教育の教科指導連絡会では、小中共に取り組んではいるものの、振り返り等では、あいさつが課題であるという意見が出され、まずは重点を置き取り組む項目として、あいさつを共通に進めていくこととした。また、学校だけでなく地域や家庭を巻き込んで取り組む必要があるということが確認された。各校で行っている「あいさつ運動」等をより充実させると共に、職員の共通理解や児童・生徒の組織を更に活かす必要がある。



\* 小・中交流（陸上競技技術支援）

- ・ 児童、生徒の交流を深めることをねらいとして、市小学校体育大会に向けた朝練習に中学校の陸上部員が参加した。中学生は見本を示し、技能ポイントをアドバイスしながら一緒に練習することで、教えることや小学生に対する接し方を学ぶ良い機会となり、何よりも自信につながった。また後日お礼の手紙をもらい、励みになっている。小学生も熱心にアドバイスを聞き意欲的に練習する姿が見られ、この経験を生かして入学後に陸上部員になる児童も少なくない。小中交流としては成果が見られた。



\* 小・中交流（合唱コンクールリハーサル見学）

- ・ 中学校へのより一層の希望を持てることをねらいとして合唱コンクールのリハーサルに2校の6年生を招待し、3年生の合唱を披露した。6年生の感想からは「ハーモニーがとてもきれい」「男声の低さにびっくり」などが聞かれ、来年度中学校の合唱を経験する児童にとってよい機会となった。3年生も小学生の感想を熱心に読み、本番まで一層熱心に取り組んだ。他学年との聴かせ合いとは異なり、中学生としての合唱を披露することで自信につながった。



〔中学校〕

① 校内研究を通じた授業改善をさらに進め、「わかる授業」構築に向けた指導力の向上

\* 校内研究の充実

- ・ 7月の生徒授業評価アンケート結果をもとに、授業形態や展開・教材の工夫について、さらに改善を図りながら取組を進めることができた。その結果12月に実施した生徒授業評価アンケートでは、授業のねらいや工夫、わかりやすい内容、学び合いや教え合いの項目で多くの教科で上昇が見られた。
- ・ 基礎基本の充実を補填するため実施した『城北タイム』（テスト前補習）では、生徒も意識して参加し前回よりも希望者が増えた。ふだんの授業では十分に復習の時間を取ることができていないため、よい機会となった。
- ・ 全職員が授業公開を行って参観し合い、授業改善に努めてきた。意識すべき『授業改善の10のポイント』を明確にし、3つの柱と関連付けて実践を行った。それぞれの教科・単元によりポイントは異なるが、特に「学習課題の設定」「学習形態の工夫」「学習のまとめ」について重点的に意識してわかる授業の実践に取り組んだ。職員一人一人が「わかる授業」の構築に向けて授業力の向上を更に意識して取り組むことができた。



② 仲間と共に、目標や課題意識を持って、主体的に参加できる活動を充実させる。

\* 学校行事の充実

- ・ 合唱コンクールに向け、運動会と同様に個人目標やクラス目標を設定し生徒の意識を高め、実行委員、指揮者、伴奏者、パートリーダーを中心とした主体的な取組を進めた。練習が進むにつれて出てくる課題をそれぞれの担当ごとに検討した。そこに職員が関わって話し合い、具体的な手立てを考えながら進めることで、担当の生徒は自信をもってリーダーシップを取れるようになった。また担当でない生徒も、担当生徒からのわかりやすい指示や具体的なアドバイスを受けて取り組みやすくなり、意識も少しずつ前向きになってきた。また、他学年の練習をお互いに見合いながら、褒めることを中心とした助言などを行い、自分たちの



合唱に活かすことにもつながった。

様々な行事の前後に行っているアンケートの結果では合唱前（9月）に比べ「学級の活動に参加している」「自分の役割を果たしている」の項目に伸びが見られる。行事の充実を通して充実感・達成感を味わい、自己有用感を高めることにつながっている。

【行事事前後アンケート結果】  
～自分の役割を果たしている～

運動会前	39	101	25	8
運動会后	80	72	17	5
校外学習後	81	71	15	7
合唱コン前	36	98	29	7
合唱コン後	77	65	15	7

あてはまる だいたいあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

#### \* 地域との交流活動

- ・ 保育園との合同防災訓練では、生徒の避難行動から安否確認、地域との情報連携をねらいとし、大津波を想定しての保育園からの要請を受け園児の救助・避難誘導に生徒が協力をした。手をつないだり背負ったりと状況に応じた避難誘導の方法で訓練し、その後は校舎内で安全待機させる中で、園児に対する接し方なども学ぶことができた。3年生は家庭科の保育の授業においても園児との接し方を学び普段から関わりを持つことに加え、いざという時に生徒は救助者としての役割を担っていることを、強く自覚できた。



### 〔小学校〕

#### ① 言語活動を重視し「わかる授業」の構築をめざした教職員自らの研鑽

##### \* 自分の思いや考えを持たせ、まとめるための工夫

- ・ 前時までの学習過程を示す掲示や板書を工夫することで、教師からの発問や友だちの意見から考える際に、流れを確認しながら学習することができた。
- ・ 課題について自力で考える時間を確保したので、自分なりの考えを持って授業に臨むことができていた。
- ・ 場面ごとの詳細な読み方でなく、全体の課題を考えるを通して読んでいくように物語文の読み方を転換していったが、子どもは登場人物の心情を深く読むことができていた。



##### \* 思いや考えを引き出し、関わらせるための工夫

- ・ あらかじめ学習の課題について自分なりの考えを持っているので、その考えを発表することにとっても意欲的であった。
- ・ 授業の途中に立ち止まって考える時にペアトークを活用したが、ペアなので考えが十分に固まっていなくても話しやすく、疑問を共有したり意見を交流したりして自分の意見を整理することにつながった。（桜井小）



##### \* 直接体験の場を大切にしたい授業づくり

- ・ 導入や単元構成を工夫することによって、子ども一人一人が「知りたい」「解決したい」という意欲に燃え、課題を一つ一つ解決していくことができた。
- ・ 子どもの思いを生かした課題の設定、調査活動、実験観察などの方法を工夫することで、子どもたちは単元を通して意欲をもって取り組むことができた。

##### \* 学び合いの活性化

- ・ 友だちとの交流によって、新たな発見や自分の考えに広がりや深まりが生まれる学びあい学習の中で実感を伴った理解がなされた。
- ・ 自分の思いや考えを伝えられるようにするための方法（モデル図、写真の活用、付箋を使った交流方法の工夫など）を工夫することによって友だちとの交流が上手になった。
- ・ 単元の系統性を意識することによって、既習事項が子どもの思考や表現に現れるようになった。
- ・ 授業の中での自己有用感が高められ、学校がますます楽しくなってきた児童が増えた。（報徳小）

#### ② 異学年集団の活動をはじめ、いろいろな行事を通した更なる学校生活への充実感

##### \* なかよし種目の取組

- ・ 運動会の種目になかよし班（縦割り班）で取り組む「なかよし種目」を取り入れた。「なかよし種目」は競技を考えるとところから子どもに委ねて、子どもが主体的に活動するように教師は基本的に見守るようにしていった。活躍した6年生は自己有用感を高めることにつながった。



##### \* さくらい集会の開催

- ・ なかよし班で遊びの店を出して楽しむ「さくらい集会」では、店を出す準備の段階で学年に応じた仕事を行ったので、下学年の子どもも自己有用感を高めることができた。また、集会当日は班の子と一緒に遊びを楽しみ、絆を深めることができた。（桜井小）

\*縦割り班集会の充実

- ・7月に行われた「ふれあい集会」をきっかけに上級生と下級生の絆がますます深まり、下級生は上級生に対して信頼感を、上級生は自己有用感をもつことができた。今では清掃などの常時活動を含めて、それぞれの班がまるで家族のようにふれあい活動が続いている。



\*学校保健委員会の取組

- ・12月には4年生以上が全員集まって、朝食の大切さについて養護教諭や栄養教諭、そして保健委員会の話を聞いた後で縦割り班に分かれてみんなで朝食メニューを考えました。(報徳小)

\*小小連携(二校合同交流会)

- ・報徳小学校PTAと桜井小学校PTAとの合同企画で2校の子どもたちと保護者・地域の方々に参観いただき交流会を行った。今年は実施日が台風の影響で休校となったため、小田原医師会合唱団によるクリスマスコンサートとなった。2校の子どもたちが一堂に会して合唱団とともにクリスマスソングを歌い、親交を深めることができた。(全校)



## 9 事業担当者の活動

### (1) 活動内容

実施要項の該当箇所		活動内容
4 (1)	事業全般	調査研究推進委員長として、全体計画立案 各部会の進捗状況の把握と調整
4 (2)	小・中連携	小中一体教育の内容の検討と推進 小中交流事業の全体計画立案
	小・小連携	小中一体教育の内容の検討と推進 小小交流事業の全体計画立案
4 (3)	データ収集、 分析等	児童生徒・保護者向けアンケートの実施、分析 市販の検査の結果分析
4 (4)	取組の評価	教職員アンケートの実施と分析 調査研究委員による評価、課題の明確化
4 (5)	資料作成、 広報等	リーフレットの作成 ホームページの掲載と情報発信

### (2) 事業推進上の成果と課題

#### <成果>

- ・本事業の推進組織である、小・中連絡協議会を頻繁に開催し、具体的実践が図れるよう担当者の打ち合わせ会を行い、連携を図った。
- ・小中連携による9年間を見通した生活指導や学習指導の体制づくりにおいては、公開授業を参観した後、作成したリーフレットをもとに各部会に分かれて意見交換をすることができた。
- ・県教育委員会・市教育委員会の指導主事の方々に頻繁に学校訪問をして頂き、指導・支援を受けて取り組みを進めることができた。
- ・幼保小中一体教育としての取り組みと関わり合いを持ちながら事業の推進ができた。
- ・小・中共に地域の方々のご理解やご協力を戴きながら、事業の推進ができた。

#### <課題>

- ・本事業で取組を進めた内容について、今後も中学校区として可能な範囲で継続し、共通理解、共通実践できるように推進していく。
- ・PDCAサイクルを着実にやっていけるように、各校で校内研修を充実させる。
- ・継続して実施する取組については、実施時期や内容について、工夫・改善を図っていく。



## 10 教育委員会の取組

### (1) 市町村教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

- ・小中連携を見通した生活指導や学習指導の体制づくりや、授業改善へ向けた支援
- ・本調査研究の成果の市内への情報発信に向けた支援

#### 〔課題と成果〕

- 県教育委員会とともに、共同研究者としての意識を常にもち、3校のパイプ役として研究に積極的に関わることで、3校の連携強化を図ってきた。
- 校内研究に積極的にかかわり、講師の紹介や指導案の形式などへの助言とともに、授業研究における指導・助言を行うことで、共通実践に向けた体制が徐々にできてきたとともに、次年度を見越した共通実践の体制作りを進めてきた。
- 研究発表会へ向け、当日のあり方について協議し、市内全小中学校への発信体制を整えてきた。

- 校内研究担当者とも連携を図り、組織的な対応を目指してきており、一層の充実を目指す。
- リーフレットの有効的な活用を目指した具体策の検討をする。

### (2) 都道府県教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

- ・小中連携、小小連携の取組が研究をより深めていくものになるように小田原市教育委員会と同步調で支援・指導していく。
- ・本調査研究事業の取組とその成果について管内だけでなく、県全体へ情報発信していく。

#### 〔課題と成果〕

- 9年間を見通した生活指導については、小田原市教育委員会とともに助言等を行い、小中連携の新たな取組へと結びつけることができた。
- 校内研究に継続的に関わり、城北中学校の研究発表会においては、「わかる授業」についての理解や意識をさらに高めていくような支援ができた。
- 他地区への情報発信の方法について検討していく。

## 11 「魅力ある学校づくり調査研究委員会」

### (1) 構成

所属	人数	備考（主な職名等）
神奈川県教育委員会	2	指導主事
小田原市教育委員会	1	指導主事
城北中学校（拠点校）	4	校長、教頭、担当教諭、地域代表者
桜井小学校（連携校）	4	校長、教頭、担当教諭、地域代表者
報徳小学校（連携校）	4	校長、教頭、担当教諭、地域代表者

### (2) 事業推進上の成果と課題

#### <成果>

- ・「魅力ある学校づくり調査研究委員会」を開催して事業推進体制を整え、日頃の取組やブロック協議会における発表について指導・助言をいただき、修正・改善を行うことができた。
- ・地域代表者の方々にも本事業についてのご理解とご協力をいただき、小・中共に地域と連携した取組の充実を図ることができた。

<課題>

- ・今後も、地域や保護者の方々から中学校区の様々な教育活動についての具体的なご意見やご指摘をいただいて工夫・改善を行い、取組に反映させていきたい。

12 作成資料等

<平成24年度>

○リーフレット

<平成25年度>

○リーフレット

13 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。）

なし

【問い合わせ先】

所属	神奈川県教育委員会教育局 支援部子ども教育支援課		電話	(045) 210-8292	
職名	指導主事	氏名	櫻井 英明	よみがな	さくらい ひであき